

SAJ・FIS 競技者の登録について

1 競技者登録とは

財団法人全日本スキー連盟 (SAJ) 及び国際スキー連盟 (FIS) が公認する競技会へ出場する場合、競技者が必ずおこなわなければならない登録のことです。

SAJ 公認大会へ出場する全ての競技者は、“SAJ 競技者登録”をしなければなりません。更に SAJ 競技者登録をした (する) 競技者のうち、FIS 公認大会へ出場する全ての競技者は、“FIS 競技者登録”をしなければなりません。

どちらの登録も、単年度ごとに手続きをする必要があります。

《注意》

FIS 公認大会では、大会 TD の権限により事前に SAJ を通じて FIS ポイント登録をしなくても大会に出場できる場合があります。この場合は事後、必ず競技者登録申込をしなければなりません。違反した場合は、競技者登録規程第 8 条に基づき、登録を取り消す場合もあります。

2 競技者登録方法

SAJ データバンクより自分が登録する競技を選択し、「2010/2011 SAJ 競技者登録申込書」を作成してください。従来どおりプリントアウトし手書きで記入し作成することもできます。

申込書は、競技者から所属団体 (所属クラブ) へ、所属団体から加盟団体 (当該都道府県スキー連盟及び (社) 全日本学生スキー連盟) へ提出してください。直接 SAJ に申込書を送付しても受け付けません。

登録の流れ : 競技者→所属団体 (所属クラブ) → 加盟団体→SAJ→SAJ データバンク

申込締切 : 加盟団体指定の締切日 (SAJ 締切りは 8 月 10 日 18:00 必着)

→ **山口県対連盟 7月31日必着**

注: 7月31日以降県連到着は、別表のとおり倍額以上とります!

《FIS ポイントリスト No. 1 掲載の受付について》

FIS ポイントリスト No. 1 に掲載されるためには、加盟団体を經由した申込み書が、平成 22 年 6 月 1 日 (月) 18:00 SAJ 必着です。なお、対象となるのは、クロスカントリー、アルペン、フリースタイル、スノーボードの 5 競技です。

登録完了 : SAJ 到着後 2 週間程度でウェブ上の競技ごとバイオグラフィーから、氏名又は競技者登録番号で検索し、“登録済み”と表示されていれば登録完了になります。必ず確認してください。

もし、登録が完了していない場合は、まず、所属加盟団体に問い合わせ

せをして申込書がSAJに送られたかどうかを確認してください。

3 競技者登録申込書

新規登録、更新登録の2種類があります。今シーズンからウェブ上で申込書を作成し、印刷することができるようになりました。更新者は、競技者登録番号を入力すると、各項目（公開情報のみ）が表示されます。先シーズンから変更がある場合は訂正してください。新規者は、すべての項目を入力（記入）してください。

以下、記載内容について説明します。

① 登録区分

SAJ 「新規」「更新」の2つの登録形態があります。競技者登録申込書の「新規」「更新」のどちらか該当する方を○で囲んでください。「申込済」とは、すでに登録申込済みの場合で、FIS 競技者登録を追加する場合です。

FIS 「新規」「更新」の2つの登録形態があります。競技者登録申込書の「新規」「更新」のどちらか該当する方を○で囲んでください。

《注意》

FIS 公認大会に出場する予定のない競技者が、間違って FIS 登録に○をつけてしまった場合、登録料が発生しますのでご注意ください。登録が完了してしまうと変更はできません。また、FIS ポイント登録ができない年齢で申し込みする競技者も見受けられますので、年齢確認表で必ず確認してください。

新規 当該競技において、まったく初めて登録をする方は新規です。ただし、SAJ 競技者登録の場合は、2007/2008 シーズン以前に登録をしても、その後、登録を継続していない方はすべて新規になります。新規登録者は必ず“選手宣誓”に署名をしてください。

更新 2009/2010 シーズン登録していた方は更新です。FIS ポイント登録を過去1度でもしてFIS コードを持っている方も更新になります。

② SAJ 会員登録番号

競技者登録をするすべての競技者は、SAJ 会員登録をしなければなりません。SAJ 会員登録は競技者登録よりも手続きの開始時期が遅い場合がほとんどです。当該年度中に必ず手続きをおこなってください。SAJ 会員登録の新規登録者は手続き中と記入してください。更新の場合は、加盟団体を移籍しても SAJ 会員登録番号は変更

になりません。

③ 加盟団体名

所属する都道府県スキー連盟及び学生スキー連盟を記入してください。

なお、SAJ 会員登録をする団体と競技者登録をする団体は同じ団体でなければなりません。

④ カテゴリー区分

該当する年代別の区分を○で囲んでください。

⑤ SAJ 競技者登録番号

更新の方のみ記入してください。

⑥ FIS ポイント登録番号

更新の方のみ記入してください。

⑦ 所属名

所属名は、「所属団体名」、「学校名・チーム名」と2つ記入する欄があります。所属団体名ではない所属名を使用する場合は、「学校名・チーム名」にも記入してください。

所属団体名 加盟団体に登録している（SAJ 登録会員証に記載されている）所属先名称のことです。団体コード表から自分の所属団体コードを検索し、6桁の数字を記入してください。コード表に所属団体がない場合には、新規登録手続き中の場合が考えられますので、手書きで団体名称を記入してください。

学校名・チーム名

競技者管理登録で使用する所属先名称のことです。バイオグラフィー、スタートリスト、リザルト、ポイントリストに掲載される名称です。この名称は、同学校、同チームで必ず統一した名称を正確に記入してください。

《注意》

学校名・チーム名は、“競技者登録 所属名称・チーム名記入についてのルール”に基づいて入力しますので予めご了承ください。

⑧ 氏名

フリガナ、姓名、ヘボン式ローマ字を記入してください。

⑨ 性別

男女を選択し○で囲んでください。

⑩ 生年月日

西暦で記入してください。

⑪ 電話番号・携帯番号

この情報には、登録処理、運営上の理由で問い合わせをする場合がありますので予めご了承ください。

4 選手宣誓

SAJ 及び FIS へ登録する競技者は、選手宣誓書の提出が必須条件です。本人の署名がなかったり、未成年の方で、保護者の署名（保護者署名欄は、所属コーチ及び監督等は不可）がない等の不備がある場合は、公認大会への出場は認められません。SAJ 競技者登録と FIS ポイント登録にそれぞれ別の署名が必要になります。見本を参照の上、間違いのないよう記入してください。

ただし、2008/2009シーズン以降登録を継続し更新している競技者は、2009/2010シーズンの宣誓内容に変更がないため、宣誓したことが継続受諾されています。今シーズン改めて提出する必要はありません。しかし、それ以前（2007/2008シーズン以前）に登録していた方は、宣誓書の内容が変更になっていますので必ず提出してください。

5 複数競技の登録について

2 競技以上登録をする場合は、申込書はそれぞれ作成してください。競技者登録料もそれぞれかかります。ただし、例外として、ノルディック競技の申込書は、ジャンプ、コンバインド、クロスカントリーで同じ書類を使用します。SAJ 競技者登録料も 1 競技分です。

《注意》

- クロスカントリーリレーに出場する場合は、クロスカントリーの競技者登録が必要です。
- マスターズアルペンとマスターズクロスカントリーの競技者は、「マスターズ競技者登録申込書」を使用してください。競技種目を選択し○で囲んでください。競技種目が選択せず申し込みした場合でもアルペン、クロスカントリーどちらの大会にも出場することはできます。SAJ 競技者登録料も 1 競技分です。

6 変更届けについて

競技者登録を完了後、団体の移籍があった場合には変更届けを新加盟団体経由でSAJまで提出してください。変更届けは、ウェブ上から入力し印刷できます。また、バイオグラフィーでの表示されている内容が間違っている場合にも使用してください。

《注意》

- 2010/2011 シーズンの競技者登録が完了した方のみ提出することができます。
- 競技者本人から SAJ に送付されたものに対しては受付はいたしません。
- 加盟団体は、必ず内容の確認を行い SAJ に変更届を提出してください。
- 2010/2011 シーズン変更届は最終ポイントリストの発行時まで受付ます。

競技者登録 所属名称・チーム名記入についてのルール

所属名（チーム名）について

* [スタートリスト・リザルト・ポイントリスト等に表示される名称] です。

1. 文字数は10文字以内を原則とします。
「スキークラブ」は「SC」と短縮型を使います。
2. カタカナ、英数字は半角になります。以外は全角文字使用します。
スペースをあける場合は半角を使用します。
3. ハイフン（-）の使用について
ハイフンは半角とし、前後にスペースは付けません。
4. 個人のスキーチーム
自由名称。SCとスキークラブが同一チームで混在しないようにしてください。
チーム名に・や、等の記号は極力使用しないでください。やむなく、使用する場合は、確認をお願いします。また、学生チーム以外で、学校名が入るチーム名は、学生チームと区別がつくような名称にしてください。
5. 企業のスキーチーム
企業名が入る場合は原則として省略しません。ただし、10文字を超える長い名称の場合は一部省略できないか検討をお願いします。（*長い名称の場合はリザルト等で全体表示できない場合がありますのでご了承ください。）
6. 学生の場合
 - 1) 市町村名の付記について
基本は都道府県市区町村名を除きます、同連盟内に同名校が有る場合は判別出来る地域名をつけてください。
例 札幌藻岩小学校 → 藻岩小学校
同連盟内に複数ある場合は 札幌藻岩小学校 とします。
 - 2) 市区町村立、私立等の付記について
基本は、私立、公立、市立、国立を省きます、同連盟内に同じ学校名が有る場合はそれらを表記します。
例 世田谷区立世田谷中学校 → 世田谷中学校
同連盟内に複数ある場合は 区立世田谷中学校 とします。

3) 限定が難しい校名（南中学校、東小学校 等）の場合

市区町村名等を校名の前につけます。但し原則とし、市・区・町・村 は除きます。

例 世田谷区立南小学校 → 世田谷南小学校

4) チーム名においては、学校名に体育会、スキー部等を付けません。

例 明治学院大学体育会スキー部 → 明治学院大学

5) 文字数が多い場合

文字総数が原則の10文字を超える場合小学校、中学校の表記を短縮します。

例 小学校 → 小

例 中学校 → 中学 更に必要な場合は 中

6) 高等学校の場合

高等学校の場合は、原則、高校 と表記します。

例 世田谷学園高校等学校 → 世田谷学園高校

7) ○○附属（付属）の場合

原則として主体となる学校名も表記します。附属・付属が選手によって混在しない様
にお願いします。

○○大学□□学部附属△△高校の様な場合可能な限り10文字以内になる様にお願い
します。特に申告が無い場合下記例の様に短縮いたします。

例 ○○大学□□学部附属△△高校 → ○○大学附属△△高校

○○□□大学附属△△高校 → ○○□□大附属△△高

7. その他

1～6の項目で処理ができない場合には、記載名称どおりに入力します。